

「VISIT JAPAN EAST ASIA Travel Mart 2016」を開催しました

東アジア市場（中国・韓国・台湾・香港の4市場）の訪日ツアー造成及び外国人旅行者数の拡大を図ることを目的とし、観光庁・JNTOによる「東北デスティネーション・キャンペーン」の一環として、海外バイヤー（旅行会社の商品造成担当者など）100名を東北に招請し、6月22日（水）に東北をはじめとした全国の国内セラー（地方自治体・旅行会社・宿泊施設・運輸機関など）120名と仙台で商談会を実施しました。

海外バイヤーは翌23日（木）から25日（土）まで、東北6県及び北海道（道南）を視察、6月24日（金）の夜には函館で地元観光関係者と交流を行いました。

松山理事長は、6月22日（水）の夜に開催された意見交換会へ主催者代表として出席、「今回の商談会及び東北各地への視察の成果が訪日旅行商品の具体的な造成に繋がりますよう、皆様との一層の連携を深めて参りたい」と挨拶をするとともに、海外バイヤーや国内セラーと活発な交流いたしました。

また、松山理事長は意見交換会に先立ち、商談会の視察をされていた香港の訪日旅客取扱最大の旅行会社EGL Tours 主席兼執行董事の袁文英氏とも意見交換を行いました。袁氏からは香港における最近の訪日トレンド・東北への送客状況などの話があり、香港からの訪日観光客増加に向けた活発なディスカッションがなされました。



商談会の様子



意見交換会主催者挨拶



EGL Tours 袁氏との意見交換



函館交流会アトラクション(バイヤー参加でいか踊り)



ファムトリップ
笹かまぼこ制作体験